



逆瀬川 あゆみだより

NO. 228 2026.7
社会福祉法人
聖隷福祉事業団
逆瀬川あゆみ保育園
宝塚市逆瀬川 2-2-8
TEL0797-77-0415

まぶしい太陽の光の下で青々と茂る草花に生命の力強さを感じる季節ですね。

6月の花の日には、持ち寄りのご協力をありがとうございました。幼い子ども達も、お花がいっぱいのいつもと違う環境に、言葉には出さなくても、ほっこりした感覚は覚えたのではないのでしょうか。

先日、ある雑誌にあった「こどもまんなか社会」についてのコラムを読みました。内容を抜粋すると、今、子どもや若者の視点に立ち、その最善の利益を第一に考え、すべての人が健やかで幸福に生活できる社会を目指す国の基本理念である「こどもまんなか社会」を掲げているが、実際のところ社会は変わっているのだろうか・・・というものでした。少子化や労働力不足の中で、子育て世帯を支援することは重要ですが、現状は「こどもまんなか」ではなく「大人まんなか」になっているのではないかと疑問をなげいていました。

自園でも6月中旬から謎の発熱者が多数あり、ご心配をおかけしました。

1週間近くお休みをしないといけない状況になっているご家庭もあり・・・協力してくれる方がいる場合は、まだなんとかお仕事を調整しながらだったと思いますが、協力者がいない場合、本当にどうしよう・・・と感じた方もいたのではないのでしょうか。私も近くに3人の孫が住んでいるため、3人が時間差で体調を崩しているのを聞くと、「協力してあげないと！」と思う気持ちと「私自身が、園に感染症を持ち込まないように気を付けないと！」という気持ちのはざまで揺れる時があります。本当に「こどもまんなか」なら企業や雇用主に保育園に通わせるうえでのルールや育児について、もっと啓発活動をしてほしいのかも知れませんね。社会全体で、もっと子育て家庭が、仕事と子育てを両立しやすいしくみになることを願います。

また、保育園の役割についてもあらためて、思う機会になりました。

数年前のコロナがどんなものかわからない中で、保育園が止まると、社会が動かなくなることを痛感したことがありました。私は、淡路島のこども園で勤務していましたが、保護者の皆さんの協力を得ながら、何としてでも、園を開けておかなければ・・・と思ったことを思い出します。職員が一斉に、通勤できなくなるようなことにならないように・・・と、職員と共に、神経がすり減る思いをしていた時期がありました。濃厚接触者の特定を園がしないといけない時に、対象の方に、1件ずつお電話で説明をした、そんな時でも、「先生達が謝ることはありませんよ。お休みのところ大変ですね・・・」と声をかけて下さった方が大半で、保護者の方の理解があって、園も運営できているのだと、励まされたような気持ちになったことを今も忘れません。コロナ禍が、遠い昔のことのように感じますが、二度とこのような事態にならないことを祈るばかりです。

子ども達も、保護者の方も、私達職員も、元気であたり前の毎日を送れることが、ささやかではありますが、幸せなのかなと感じます。7月の暑さも、元気に乗り切れますように・・・

※これから、台風シーズンに入ります。

園は、警報で休園することは基本ありませんが、特別警報が発令された場合は、休園になります。

また、通常の警報でも、お迎え時間等に台風の最接近が予想される場合などは、安全確保のため、コドモンでお迎えのご協力を配信する場合があります。

辻田 紀子

花の日にお花の持ちよりのご協力、ありがとうございました。

たくさんのお花に囲まれて、礼拝を守り、近隣の施設や日頃お世話になっている公共機関や施設に感謝の思いと共にお花を届けることができました。

「お花が育って、きれいな花を咲かせるには、何が必要かな？」とひつじぐみやうさぎぐみの子ども達に聞いてみると、「たいよう！」「あめ！」という言葉がかえってきました。子ども達ってほんとうによく知っています。

ひよこぐみとりすぐみは「これはひまわりだよ」と言うと「ひまーり」と真似っこしたり、「きれいなね〜」と教えてくれたり・・・可愛らしい姿がありました。

みんなで神様の恵みに感謝をしながらお祈りをしました。

7月の予定

1日 プール開き
24日 なつまつりごっこ



夏季協力保育の申し込みについて

8月10日(月)～15日(土)

後日、協力保育の申し込みをコドモンのアンケートにて配信します。入力後、お申し込み内容に変更が出た場合は、担任までお知らせください。なお、協力保育期間外で、お休み（職場の夏季休暇など）をされる場合も、事前にお知らせいただくと助かります。よろしくお願いします。



お誕生日おめでとう



5名のおともだち

～ すくすくと大きくなってね ～



とこしえの愛

わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し／変わることなく慈しみを注ぐ。（エレミヤ31：3）

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

愛という言葉は、私たちの心を和ませ、温め、喜ばせます。しかし、私たちの周りにどれだけ本当の愛があるのでしょうか。親がわが子を虐待する事例は、枚挙に暇がありません。息子・娘が自分の親を殺害する事件もよく起こります。親友だと思っていた人に裏切られるということも、珍しくありません。なぜこのような痛ましい事が起こるのでしょうか。それは、愛が人間から出たものだからです。親子の愛も、男女の愛も、友愛も、人間が本来持っているものですから、“ここまで”“これ以上は無理”という限界があります。人間の愛は、永遠・不変のものではないのです。

けれども、神様の愛は永遠・不変です。神様は、私たちに「わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛している」と語ってくださいます。その証拠として、神様はその独り子イエス様をこの世に送り、十字架におつけになりました。神様に背を向けて自分勝手な道を歩んでいた私たちを赦し、受け入れてくださるために、私たちの身代わりにイエス様を十字架におつけになったのです。神様は、そこまでして私たちを愛してくださったのです。この神様の愛は、とこしえの愛です。限界がありません。この愛を、そのまま受け取らせていただきますよう。